

第3回 新御堂筋改修計画 意見交換会

アドプトロード委員会 委員長 橋本徹也

日 時：平成20年12月10日(水) PM2:00～

場 所：サニーストーンホテル北館4階菊の間

ゲスト：石橋泰典(吹田市)／隅田知里(吹田市)／大石博司(茨木土木事務所)／
松本弦(茨木土木事務所)／松山浩(八極設計株式会社)／一文字真弓(関西大学学生)／
石井達也(関西大学学生)大西洋平(関西大学学生)／岩本伸江(関西大学学生)／
国重亜希(関西大学学生)／舟場拓司(関西大学教授)

江坂企業協議会：瀧川紀延(㈱リバフォー)／小川勉(淀川ヒューテック㈱)／
毛利征一郎(㈱大久)／豊田稔(エスコタウン・ビルオーナー会)／藤井一信(㈱東急不動産)／
橋本徹也(㈱橋本測地設計事務所)／渋谷清明(㈹サンプロジェクト)／宗近孝(バースアイ出版)

議 題 1

「心のバリアフリーの展開について」

茨木土木事務所 大石博司統括主査

- 心のバリアフリーをめざして
吹田市でも「人を思いやり、助け合う」このことが、バリアフリーを進める第一歩であると考え「だれにもやさしくなれる」吹田のまちづくりをめざしている。
- 心のバリアフリーの取組み例として
 - 高齢者、障害者などの方にとって、バリアとなるものについて理解を深める。
 - 車いすの方が階段や段差を上げずに困っていたら、声をかけ、お手伝いする。
 - 視覚障害者の方が交差点を渡ろうとしたら、

電車に乗ろうとしていたら、声をかけ、お手伝いする。

- マナーの向上 迷惑駐輪をしない 違法駐車をしない お店の商品を歩道上に置かない。
- ソフト施策 吹田市では、ハード整備のみでは早急な解決が困難である場合の取組みとして、また、ハード整備完了後もより多くの人の安全・安心・快適に移動できるための取組みとして、ハード整備とともに、広報・啓発の推進、バリアフリーに関する情報提供を進めてゆく。



議 題 2

一般国道423号(新御堂)歩道空間の提案

茨木土木事務所 建設課 松本弦主査

まず、江坂駅周辺事情や現況の歩行者事情などの説明があり、工事内容と現状から改修した後の様子についてパワーポイントでわかりやすく説明され、自転車と歩行者の分離の整備工事のイメージを示し、物理的なバリアフリーだけではなく、地域特性を生かしたアドプト活動や「心のバリアフリー」の提案もあった。また新たな提案として「アドプト・プレート」や「青色防犯灯」、目の不自由な方への音声案内システムの、点字掲示板、車椅子を押しながら買い物の介助などの提案があった。

課 題 3

「江坂の緑化と都市計画」の提案

関西大学社会システムデザイン実習

吹田市にとって緑の量について、パワーポイントをつかって、実際に図で変化を見てゆく。吹田市の緑の変化は、市域全体で緑比率22.4%がだんだんと減少傾向にある。緑の増量が課題であるとして、「屋上緑化・屋上菜園」を進める参考事例をまじえて説明。また、「屋上菜園」のもつ課題などにも触れ、プレゼンテーションを終えて、参加者の皆様のご意見をお聞きしました。今後の江坂のまちづくりの参考として、意義ある提案をいただいた場であった。今後も、このような若い人たちの提案を、江坂企業協議会としても参考にしたい。

